

2.1.3 松くい虫サンプル調査

(1) 方法と調査時期

眺望地現地踏査およびドローン調査の結果について現地確認を行い、リュウキュウマツの衰弱・枯死木か否か確認を行った。リュウキュウマツの衰弱・枯死木であった場合、材片採取も行い、マツ材線虫病診断キット（(株)ニッポンジーン製）によるマツノザイセンチュウ検出試験を行った。

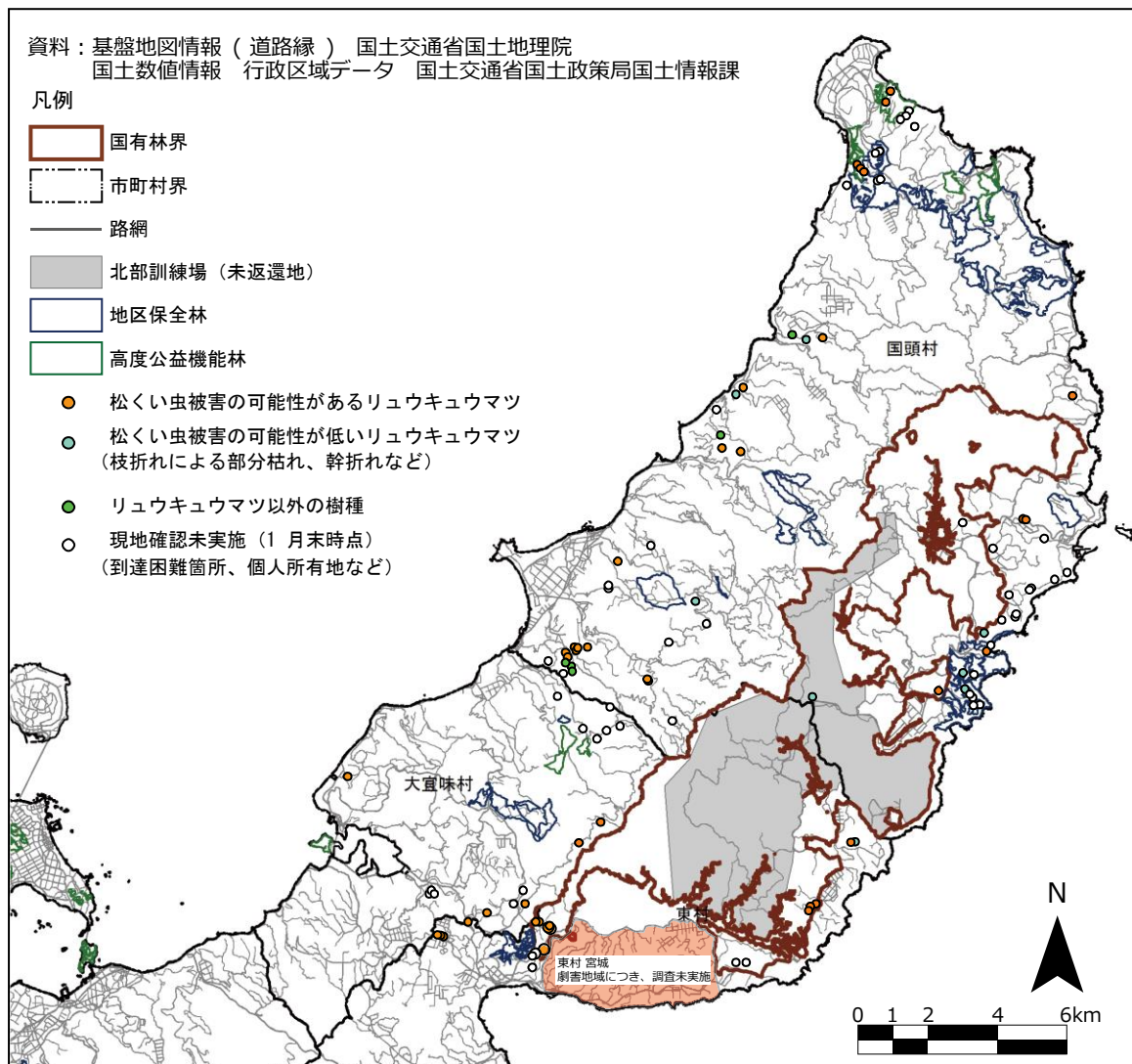
確認・調査は令和元年11月から令和2年2月にかけて行い、マツノザイセンチュウ検出試験は、沖縄県森林資源研究センターで実施した。

(2) 調査結果

1) 現地確認

現地確認の結果、57個体はリュウキュウマツと確認できた。他樹種との誤認であった個体はソウシジュやモクマオウとの見間違いであった（国頭村辺野喜1個体、与那から謝敷にかけて1個体、国頭村比地周辺3個体）。

材片採取は、幹折れや枝折れ、樹皮剥離で人為的に枯死させたなど、明らかに松くい虫被害でない個体を除いた枯死木（49個体）で行った。



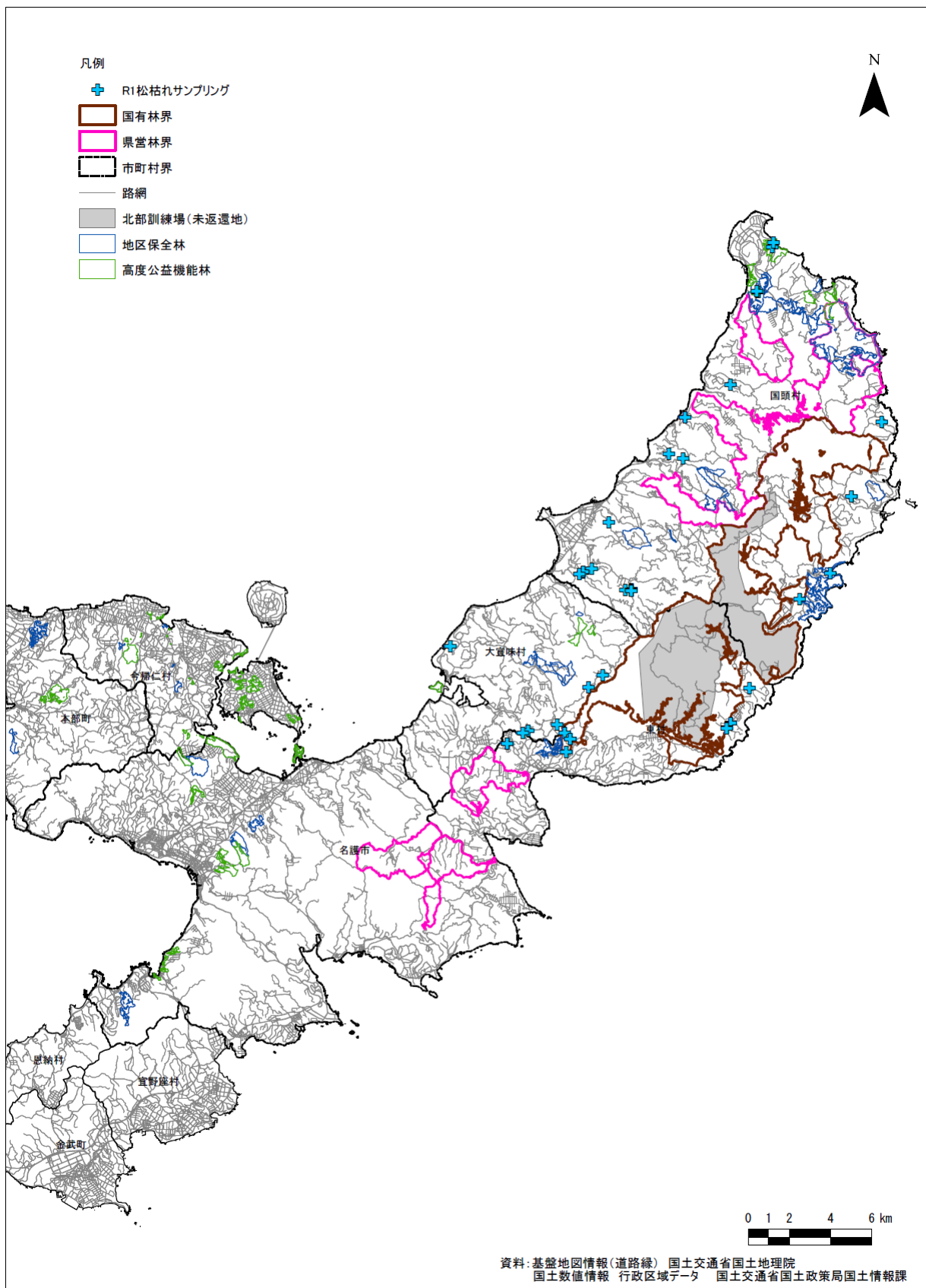
図Ⅱ.2.1-8 眺望地現地踏査およびドローン調査の現地確認 結果（令和2年3月時点）

2) マツノザイセンチュウ検出試験

国頭村比地・浜付近と東村高江の、昨年度の北端ライン周辺で引き続きマツノザイセンチュウが検出されたのに加え、その北側に位置する国頭村の与那と安波でも検出された。国頭村与那は平成 28 年以来、国頭村安波は沖縄島東側で調査開始（平成 27 年）以降の最北端となる箇所となる。

また、国頭村宜名真では調査開始（平成 27 年）以降からマツノザイセンチュウは検出されていなかったが、今年度 1 個体からマツノザイセンチュウが検出された。

松くい虫被害の集中する東村宮城の周辺については、大宜味村との村境付近まで多くのリュウキュウマツからマツノザイセンチュウは検出されており、西側への被害範囲の拡大が示唆された。

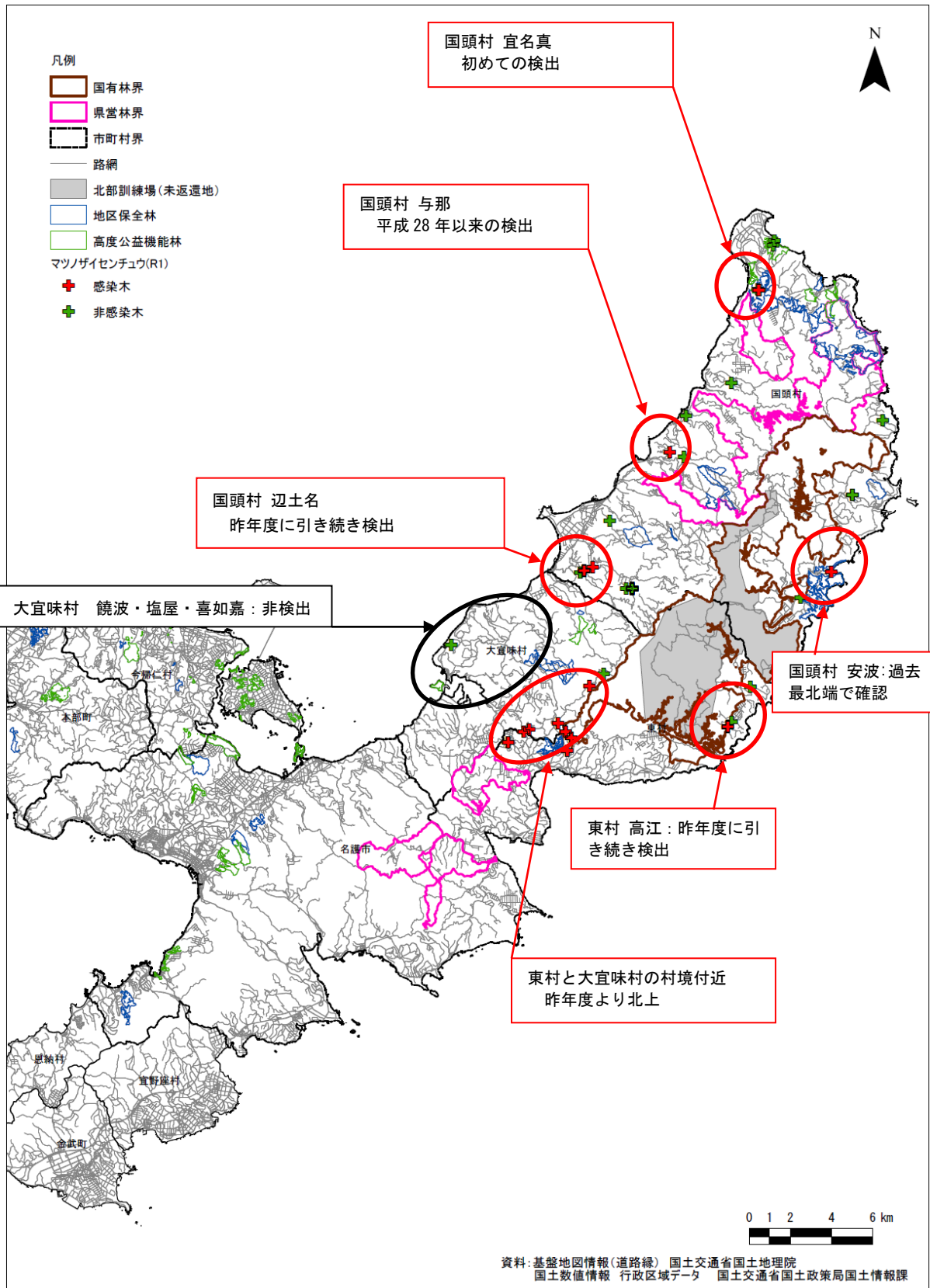


図Ⅱ.2.1-9 令和元年度松くい虫サンプル調査位置図

表Ⅱ.2.1-5 令和元年度マツノザイセンチュウ検出試験結果

No.	場所	マツノザイセンチュウ DNA検出試験
1	国頭村字辺野喜	—
2	国頭村字安波	—
3	国頭村字安波	+
4	国頭村字安田	—
5	国頭村字安田	—
6	国頭村字楚洲	—
7	国頭村字佐手	—
8	国頭村字辺士名	—
9	国頭村字比地	+
10	国頭村字比地	+
11	国頭村字比地	+
12	国頭村字比地	+
13	国頭村比地（長尾橋周辺）	—
14	国頭村比地（長尾橋周辺）	—
15	国頭村比地（長尾橋周辺）	—
16	国頭村比地（長尾橋周辺）	—
17	国頭村比地（長尾橋周辺）	—
18	国頭村比地（長尾橋周辺）	—
19	国頭村比地（長尾橋周辺）	—
20	国頭村比地（長尾橋周辺）	—
21	国頭村比地（長尾橋周辺）	—
22	謝敷（国頭村字与那）	—
23	国頭村字与那	+
24	国頭村字辺戸	—
25	国頭村字辺戸	—

No.	場所	マツノザイセンチュウ DNA検出試験
26	国頭村字宜名真	—
27	国頭村字宜名真	+
28	国頭村字宜名真	—
29	東村字高江	—
30	東村字高江	+
31	東村字高江	+
32	東村字平良	—
33	東村字平良	+
34	東村字平良	+
35	大宜味村字上原	—
36	大宜味村字田港	+
37	大宜味村字押川	+
38	大宜味村字田港	+
39	東村字平良	+
40	東村字平良	+
41	東村字平良	+
42	東村字平良	+
43	東村字平良	+
44	東村字平良	+
45	東村字高江	—
46	大宜味村字喜如嘉	—
47	大宜味村饒波	+
48	国頭村字比地	—
49	国頭村字比地	—



図Ⅱ.2.1-10 令和元年度マツノザイセンチュウ検出試験結果